

「芦屋中央病院跡地検討 令和元年度方向性策定イメージ」
(兵庫県尼崎市資料)

令和元年11月26日
第1回病院跡地検討委員会資料④

■若葉小敷地に関わる土地利用イメージ (例) これまでの検討を踏まえ、「パターン1」を推奨案とし、3つの案を提案します。

	考え方	機能配置図 (案)	導入施設 (例示)	メリット (○)・デメリット (×)
パターン1 【推奨案】	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい教育施設などを誘致し、地域の活性化や雇用創出などにつなげていく (校舎、グラウンドの活用) ●公的な機能を導入する 	<p>一部校舎の活用</p>	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間の大学や専門学校、学習塾等の教育施設の誘致 ・上記にあわせて、活用できる校舎やグラウンドを現在のまま活用 (地域に一般開放) <p>【公的な機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署出張所など <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニュメント、記念樹の保存など 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校と連携し、学生の将来の就業の場が集積する可能性があり、地域の雇用創出の拡大につながる。 (例えば、デザイン専門学校により、学校と連携し、デザイン系の企業や店舗が多く集積するなど) ○学生が集まることにより、周辺に若者向けの店舗などが多く立地する可能性があり、地域の活性化につながる。 ○学校によっては、校舎やグラウンドをそのまま活用することも考えられる。この場合、グラウンドについては、災害時の避難場所やその他、地域に一般開放していただくことも考えられる。 ×住宅などの用地がないため、定住人口の増加には直接つながらない。 ×消防署出張所などを導入すれば、その分グラウンド用地は縮小する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進出する学校等の有無、及びその規模 ・校舎及びグラウンド活用の担保性
パターン2	<ul style="list-style-type: none"> ●立地環境に合わせ、新しい企業などを誘致し、地域の産業振興や雇用創出などにつなげていく (校舎の活用) ●公的な機能を導入する 	<p>一部校舎の活用</p>	<p>【産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい企業 (産業) の誘致 (場合によっては、1社でなく、複数企業の誘致なども考えられる。) ・上記にあわせて、活用できる校舎を現在のまま活用 ・グラウンド活用については、立地企業などによる <p>【公的な機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署出張所など <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニュメント、記念樹の保存など 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい就業の場の導入により、関連企業などの立地の期待も高まり、地域の雇用創出の拡大や地域産業の活性化につながる。 ○就業者が多くなり、周辺に就業者向けの店舗などが多く立地する可能性があり、地域の活性化につながる。 ○企業によっては、校舎やグラウンドをそのまま活用することも考えられる。この場合、グラウンドについては、災害時の避難場所やその他、地域に一般開放していただくことも考えられる。 ×住宅などの用地がないため、定住人口の増加には直接つながらない。 ×消防署出張所や企業によっては、その分グラウンド用地は縮小する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進出する企業の有無、及びその規模 ・校舎活用の担保性 ・グラウンドの所有形態
パターン3	<ul style="list-style-type: none"> ●多世代交流のできる拠点をつくり、地域コミュニティの活性化につなげていく (グラウンドの活用) ●公的な機能を導入する 	<p>一部校舎の活用</p>	<p>【多世代交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間による優良老人ホームなどの高齢者福祉施設 ・民間による保育所などの子育て支援施設 ・上記を融合した複合機能 (民間による「多世代交流センター」など) <p>【公的な機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署出張所など <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニュメント、記念樹の保存など 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援機能と高齢者福祉機能の導入、融合により、多世代が交流できる場が生まれ、地域コミュニティの活性化につながる。 ○誘致する施設によっては、校舎やグラウンドをそのまま活用することも考えられる。[校舎の活用の可能性は低い。] この場合、グラウンドについては、災害時の避難場所やその他、地域に一般開放していただくことも考えられる。 ×住宅などの用地がないため、定住人口の増加には直接つながらない。 ×消防署出張所などを導入すれば、その分グラウンド用地は縮小する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進出する子育て支援施設及び高齢者福祉施設の有無 (または運営主体) ・グラウンド活用の担保性 ・校舎の活用とグラウンドの所有形態

土地活用のイメージ図

